

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	保育実践演習				
担当者氏名	坂口 静子、白川 晴美				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門応用-4 発達の深い理解 ◎ 専門応用-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

保育者には豊かな感性、表現力、企画力、指導力など多くの力が要請される。そして、何よりも、保育者同士の連携と協同の意識が重要になっているのが現場である。共に演習を行う者同士が協同の意識を持ち、卒業後の保育内容の向上に役立つよう、保育集団としての役割が果たせるよう演習を進めてほしい。

《授業の到達目標》

- 保育者間の連携と協同の意識を涵養する。
- 子育て支援施設の機能や役割について学ぶ。
- 教材作りを通して、子どもの心の成長に役立てる。

《成績評価の方法》

定期試験は実施しない。  
 授業における貢献度、作品によって評価する。  
 平常点(受講態度等)20% 遊具制作・発表等80%

《テキスト》

使用しない。

《参考図書》

特に指定しない。  
 適宜資料を配布する。  
 注意事項：はさみ、のり、サインペン等を持ってくるよう指示することがある。  
 教材作り、造形材料の収集・購入が必要となる場合がある。

《授業時間外学習》

作品作成は授業外で完成させることもある。

《備考（教員経験の有無）》

この教科は幼稚園の教員経験に基づき構成しています。  
 コロナ感染状況により学習内容の変更、時期の入れ替えがあります。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	演習の目標と内容について 現在の子どもたちを足り巻く環境について
2	乳幼児のおもちゃ製作と活動	乳幼児の発達と教材との関係 おもちゃ製作の構想と 製作シートの立案
3	乳幼児のおもちゃ製作と活動	計画の修正と 材料の確認 製作シートの決定(遊びのねらい・作り方・遊び方等)
4	乳幼児のおもちゃ製作と活動	創作・製作
5	乳幼児のおもちゃ製作と活動	創作・製作
6	乳幼児のおもちゃ製作と活動	創作・製作
7	乳幼児のおもちゃ製作と活動	創作・製作
8	製作物及び活動の発表と相互評価	安全・安心なおもちゃ作り・活動を中心とした評価
9	現在の子どもたちを取り巻く環境	子どもたちの多様な姿からの考察
10	子どもを尊重する保育	子どもの権利・子どもの最善の利益を大切に保育
11	食育と子どもの成長	「いのちをいただきます」を考える食育と保育と心の育ち
12	テーマによるグループワーク	テーマによるグループディスカッションと発表
13	テーマによるグループワーク	テーマによるグループディスカッションと発表
14	地域連携の意義	地域を視野に入れた諸活動の取り組みと目指す保育者
15	まとめと課題の整理	グループワーク 意見交換とまとめ